

心友会だより

第392号

昭和44年6月1日創刊
平成19年5月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-13-17
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教法人出雲心友教会
編集兼発行人 佐藤武彦
毎月8日1回発行
1部150円 (送料共)
年間購読料1,800円

35周年記念式典を終えて

平成十九年四月八日、新宿の京玉プラザホテル内、エミネンスホールに於て、
宗教法人出雲心友教会、三十五周年祭と会長先生の傘寿のパーティーが、午後五



35周年パーティーより

時より開宴致しました。

思えば、この出雲心友教会は、昭和四十三年二月十八日に当時会長先生の御自宅、狛江市和泉にて『出雲心友会』として誕生致しました。

出雲大社の大国主大神を御祭神と仰ぎ、真実の信仰に歩もうとする人達の集まりとして発足。皆よき心の友との思いから、出雲大社東京分祠長、千家先生が、名付けて下さいました。

それからは、会長先生の霊能力と暖かいお人柄が、人から人へ伝わり、少しずつ信者の数も増えてまいりました。

そして、大変なご苦労と努力により、昭和四十六年十月、川崎市生田（現在の多摩区東生田）の地に本殿が誕生しました。

地道なご活動が実を結び、昭和四十七年六月十四日、ついに宗教法人としての認

可を取得し、『出雲心友教会』として新しいスタートを切りました。それから、三十五年目の四月八日が、このパーティーなのです。

当日は、選挙戦のお忙しい中、参議院議員の山谷えり子先生、衆議院議員の衛藤征士郎先生の秘書、神田信浩様にご挨拶をいただき本場に有難く思いました。

また、乾杯のご発声は、カナダ様式会社の相談役、金田勝次様が信者を代表してされました。ちなみに、金田様は、御歳九十四との事で、こういう年の重ね方をしたいと思った方が、多かったのではなかったでしょうか。

そして、余興も若柳若様の舞踊、なかたつやさんのマジック、神楽坂の芸者衆の舞踊、藤田まことさんのトークと歌のショーと盛りだくさんで、パーティーを盛り上げて下さいました。

本当に、こんな景気の時にご来賓、信者の皆様合わせて二百五十名近くの方のご出席をいただき、誠に有難うございました。

改めて御礼申し上げます。古来日本の家庭では、普通に神棚と仏壇があり、自然に手を合わせておりました。

そして、自然の恵みに感謝し、共存共栄の生活をしていました。

しかし、近代化の名のもとに自然を破壊した結果が今問題となっている、環境問題、地球温暖化の問題です。

そして、自然を破壊し建てたビル、マンションが増加した為、核家族化が更に進行しました。

その核家族化が進行すると良い風習を教える人もいなくなると同時に、神棚、仏壇のスペースすらないという家庭が増加した要因にもなっています。

こうした悪循環は、目に見える物だけを信じ、目に見えない物は信じないという人が増加している事からもはっきりしています。

神仏に対する畏敬の念、先祖に対する感謝の念は、人間である以上、当然持っているはずなのです。しかしながら、その事を

残念ながら忘れてしまっている人たちが多過ぎます。

本来の人間の基本は、感謝と反省だと思えます。

日本の宗教、神道は、古来から、大自然に感謝し、共存する事が基本でした。

それは、色々な自然現象を神のおぼしめしとして受け止め、生活していた事からも明らかです。

大神様から会長先生に、『日本を神道にもどす礎にいすえなれ』との言葉が以前あったようですが、まさに、今こそその時なのではないのでしょうか。

人間は、『生きている』のではなく、『生かされている』のです。この事を全ての人たちが気づけば、社会は必ず良くなりますし、まずは、日常生活から変わるはずなのです。

寿命は、大神様がにぎつていらつしやるのです。生かすも殺すも大神様次第なのです。

私たちには、神道を広める使命があるのです。このすばらしい大神様の御神徳を一人でも多くの人に伝えてゆきましょう。

皆様に感謝して

実行委員長 新妻貞二

平成十九年四月八日は、宗教法人出雲心友教会三十五周年祭と細矢会長の傘寿というお目出度いパーティーを滞りなく仕えさせていただいたことに感謝と御礼を申し上げます。

総代の皆様には各担当責任者などで、このパーティーのスムーズな運行にご協力いただき感謝申し上げます。

また、お忙しい中、参議院議員・山谷えり子先生、衆議院議員・衛藤征士郎先生の秘書、神田信浩様をはじめご来賓の方々、多くの信者等二四六名のご参加を

創立三十五周年祭と

会長先生傘寿を祝して

世田谷支部長 小林伊佐子
四月八日、心友教会創立三十五周年記念パーティーと細矢会長先生の傘寿のお祝いの会が、京王プラザホテルで五時より行われました。天候にも恵まれ、オーストラリア、鹿児島、岡山など各地から二百五十名近く

いただき、盛大なパーティーになりましたこと誠に有難く厚くお礼を申し上げます。

又、三十五周年祭と傘寿のお祝いにあたりまして、皆様方のご奉賛とお祝いを賜り関係者一同心より御礼を申し上げます。

乾杯のカネダ株式会社相談役、金田勝次様の九十四才とは思えない元気で張りのあるお声とお姿には大神様に守られていることを実感いたしました。

また、お忙しい中、参議院議員・山谷えり子先生、衆議院議員・衛藤征士郎先生の秘書、神田信浩様をはじめご来賓の方々、多くの信者等二四六名のご参加を

の方々のご出席になりました。信者の方々の真心と、会長先生の御人柄、御人徳によるものではないかと思えます。参議院議員の山谷えり子先生の挨拶に始まり、衆議院議員衛藤征士郎先生の祝辞(神田秘書代読)がございました。金田勝次様(九十四才)の乾杯のご発声の後、若柳若様(田中幸

め)の教えとして、争うなかれ・誇るなかれ・愚痴るなかれです。私達は生かされて生きているのです。

米国の初代大統領であったジョージ・ワシントン建国の父として国民から高い尊敬を得ていますが、あるときワシントンが八人の影武者とも言える者たちと共に一行が教会に近づいたとき、ある男がワシントン

はどの方ですか?と牧師に話しかけました。すると、もうすぐわかります。それは一番本気に礼拝する人が本物のワシントンですよ」と答えました。

多くの人のためを思う者は、本気に祈らざるを得ないのです。ワシントンの英

子様)の舞踊に始まり、なにかたつやのすばらしいマジック、神楽坂の方々の舞踊、そして最後に藤田まことの楽しいお話と、千の風を歌って下さいまして大変楽しく堪能させていただきました。お料理はバイキング形式で、西洋料理、中国料理、お寿司、日本そばなど盛り

霊が永久に生きて、米国の前途を見守っているかの如くに連想させます。それと同時にワシントンが生前信仰深い人であったことを知る事ができます。

私共も大神様のお恵みをいただくためには神前にて軽率な振る舞いをするのではなく人の心は、宇宙大生命の真如に触れることが必要だと思えます。

私たちも本気に祈りつつ働きたいと思えます。細矢会長が米寿、卒寿、白寿、百賀といつまでもお元気で私共をご指導いただきますようお願いし、又、皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

沢山で満喫なされたのではないのでしょうか。心友会の沿革のビデオを二〇分間放映していただきましたが、今日までの心友会のあゆみ、変遷を改めて拝見いたしました大変思い出深いものがありました。

出雲心友教会が昭和四十七年宗教法人として創立いたしましたから、十五周年

大自然の恵みを活かして住もう 省エネ 活性化住宅
太陽で24時間床暖房 **ハイブリッドソーラーハウス**
奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間(全館床暖房) エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。
下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。
出雲心友会 横浜支部会員
My Hands 有限会社白幡工務店
〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

楽しい出逢いが待っています。
VIXEN JAPAN
双眼鏡・天体望遠鏡・顕微鏡はビクセン
http://www.vixen.co.jp
TELESCOPES·BINOCULARS·MICROSCOPES·MAGNIFIERS·COMPASSES
株式会社ビクセン
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
TEL:(042)944-4000(代)
FAX:(042)944-4045

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。
都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の展示会にご案内いたします
泉服のぎんわ
練馬区関町北1-15-11
TEL 03-3928-5298
八雲支部 渡邊

江戸前上種 本まぐろ
銀寿司
営業時間 昼 12:00~1:30 火曜休み
夜 5:00~9:00
東京都墨田区京島3-18-19
TEL 03(3611)8322
永代支部 長谷川
下町にお出かけの際は、是非お立ち寄り下さい。

正一位中子稲荷
いなり茶屋
~法事会席3,500円より承っております~
水曜日定休
営業時間 午前11時~午後3時
午後6時~午後10時
群馬県北群馬郡伊香保町509-3
天田 信良・典子
TEL.0279-72-4465

は帝国ホテル、二十周年は
椿山荘、三十周年はすばら
しい新本殿が竣工いたしま
した。そして今年三十五周
年の祝賀パーティ、並びに
会長先生の傘寿のお祝いの

神様の存在

鹿見島支部 下池恵子

この度は、「出雲心友教会
「二十五周年祭」を迎える
事ができました事、本当に
有難く、嬉しく感じており
ます。これまで神様の御心
に従って努力されてこれら
た、先生、並びに周りの方
々のお力があつたからこそ
と思っております。

出雲心友教会設立 三十五周年に想ひごと

新橋支部 佐藤克己

このたびの、京王プラザ
での宗教法人として三十五
周年記念パーティ、大勢の
信者、また、多数の来賓の
方々の出席本當にうれし
かぎりでした。

会を催すことが出来まし
たことはまことに喜ばしく感
慨もひとしおでございます。
五年後の四十周年をめざ
して会長先生にはくれぐれ
も健康に気をつけられてお

元気におすごしいただきた
いと思ひます。
最後に、祝賀会が盛大に
催すことが出来したのは、
会長先生始め、井田先生を
中心に佐藤先生ご関係の皆

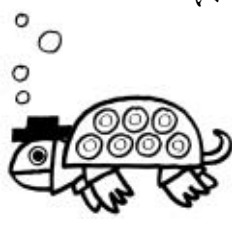
様のおかげと感謝いたして
おります。大変お骨折いた
だきましてありがとうございます。
ありがとうございました。



と、自然と「神様はいつも
見ていて下さる。」という信
じる心が生まれ、日々のお
参りの際に、心の中で感謝
と反省、願いを常にオーブ
ンに出来ていました。
今でもその習慣は続いて
います。毎日心をクリーン
にしながら生きている事の
大切さは感じてきたつもり
です。

私の中で、「神様」の存
在があるという事は、「安
心感」を与えてくれます。
正直に、誠実に、精一杯生
きる事の大切さを教えて下
さっている様に感じていま
す。
人の心は弱いものだと思
います。最近のさまざま

な方達とのご縁がありまし
た。皆様に支えられて今日
があると思っております。微
妙なタイミングでの人との
出会い等は、本当に神様の
お手振りだと思っております。
私の中で、「神様」の存
在があるという事は、「安
心感」を与えてくれます。
正直に、誠実に、精一杯生
きる事の大切さを教えて下
さっている様に感じていま
す。
人の心は弱いものだと思
います。最近のさまざま



又、余興も田中幸子さん
の日本舞踊、手品、神楽坂
の方々の舞踊、最後に藤田
まことさんのトークと歌、
瞬く間の二時間でした。
昔のビデオを観ていると
昨日の事のように、色々と
思い出しました。
帝国ホテル、目白の椿山
荘での記念パーティ、函南

の分教会設立、鳥居建立、
私達家族も、心友会にお世
話になって早いもので、二
十二年になりました。
その間、お大国様のお手
振りを、たくさん戴きまし
た。
その一つに、十五年ほど
前のことですが、私の家は
十字路にあり、年に四、五

回、車が飛び込んでしま
した。
そこで、八の日のお取替
えのときに、車に注意しな
がら交差点を抜けたところ
それ以後全く飛び込んでき
ません。無論、事故はあり
ませんが、我が家も、隣家も
被害がありませんでした。
今は、そこを引越しま

ご商談、ご宴会、
各種会合に
ご利用下さい。

翁庵

新宿区神楽坂1-10
☎03(3260)2715

日立チェーンストール
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

榊原電機株式会社

中野区沼袋1-2-12
☎03-3387-6351(代)

KANEDA
Co・advance
油のことなら何でもご相談下さい。
食用油脂・食品・調味料
石油製品・化学製品

カナダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号
〒111 TEL03-3861-1311(代)
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック
疾病の早期発見・早期治療から予防
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史
東京都文京区西片1-15-10
TEL.03-3816-5840

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ

宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地1-4-7
電話 03(3541)0164・0177・0370
FAX 03(3541)0164

したが、新居でも八の日に
は玄関と家の前の道を、お
抜いさせていただいており
ます。
まだ、そのほかにも、沢

山、家族も元気で、仕事も
順調、数えれば、まだまだ
あります。
本当に、お大国様に守ら
れております。

又、細矢先生の傘寿、お
めでとうございます。
これからも、お元気で
過ごしていただきたく
思います。

これから先、四十年、五
十年と末永く永遠に出雲心
友教会が発展することを、
希望いたします。

『神田祭』

神田祭は通称で、正式に
は、神田明神の例祭です。

神田明神は、もともと平
将門の怨霊を鎮めるために
建てられた神社で、以前は
現在首塚がある大手町にあ
りました。

のだと思われれます。
将門を信奉していた徳川
家康は関ヶ原の合戦に臨ん
だ際、勝負事を勝ちに結び
つけるのは結局は執念であ
ると、神田明神に戦勝を祈
願しました。

祭りの見どころは、土曜
日の神幸祭で、鳶や神官な
ど約三百人による華やかな
時代行列と共に、一の宮、
二の宮、三の宮が東京のビ
ジネス街を静々と進む光景
は、感動すら覚えます。

また、この神田明神とい
うのも俗称で、正式には神
田神社（御祭神は、大己貴
神と少彦名神と平将門）で
す。

ご存じのように将門は、
自らの乱によって関東地方
に独立政権を築きますが、
藤原秀郷に討たれ、首は都
に晒されます。

もともと神田明神祭は、
江戸の疫病を祓うための神
事に由来しますが、家康
は天下分け目の合戦の勝軍
となったのが、九月十五日
の祭礼の最中だったため、
「吉事の祭として代々断絶
してはならぬ」と厳命した
そうです。

翌日曜日には、八十基も
の勇壮な氏子町神輿が威勢
よく繰り出し、神田明神へ
宮入ります。
神輿は神様の乗り物で、
神輿を盛んに振るのは、神
様の霊魂を強くするためだ
と言われています。

五月十五日に、もとは例
年大祭が行われていました
が、天和年間（一六八〇一
八三）からは、基本的には
西暦偶数年に大祭を執行、
奇数年に神田祭と呼ばれる
祭りが行われるようになり
ました。

ところが、首を見た者が
次々に変死するという祟り
が起り、やがて首は空を
飛んで、武蔵の国まで帰っ
てきたとされています。
これが有名な『将門の首
伝説』です。

明治二十四年より、秋の
九月十五日では、台風など
の影響を受けやすく、祭り
が出来ない事も多かったの
で、五月十五日に執行され
る様になり、現在に至って
います。

そうやって町内を練り歩
き、神の御加護をまき散ら
すのです。
神田祭は、今もなお東京
を代表する祭のひとつであ
る事にかわりありません。

神田祭は山王祭と並び、
江戸の天下祭と呼ばれ、江
戸時代には、徳川氏の御用
祭と称して将軍の上覧に供
せられた大祭でした。

もちろん首が空を飛ぶわ
けはなく、家臣が奪い返し
て持ち帰ったのですが、こ
の伝説は、将門が何事にも
並外れた執念を燃やす男で
あったことから生まれたも
です。

どんな小さな事でも結構
です。
普段、会長先生などには

祭りの見どころは、土曜
日の神幸祭で、鳶や神官な
ど約三百人による華やかな
時代行列と共に、一の宮、
二の宮、三の宮が東京のビ
ジネス街を静々と進む光景
は、感動すら覚えます。

疑問、質問受付中
心友会だよりでは、皆様

が日頃気になっている疑問
や、どうしても聞きたい質
問をお待ちしています。

どんな小さな事でも結構
です。
普段、会長先生などには

伺えない基本的なものでも
オーケーです。(匿名で掲載
致しますので安心下さい。)

大祭について

今年の春季例大祭から、
祭事、直会の方法などを含
めて、一部見直す運びとな
りました。

例えば、余興にマジック
や落語、舞踊、ミニコンサ
ートなど、プロやセミプロ
の方にお願ひし内容の豊富
なイベントにしたいと考え
ております。

春季例大祭では、第一弾
として、ジャズのミニコン
サートを考えております。
(変更有り) 当日は、是非
おまいり下さい。

心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円
(二部につき)でおわけします。
親戚の方や、知人の方にお渡
しください。
こちらから直接郵送も可能です。
(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書「日本的心
神道入門」(再版)、「霊のめぐ
み霊のさわり」(神霊の奇跡)「
神のこころ・霊のめぐみ」
全て、末広会にて販売してお
ります。
在庫に限りがございますので、
お早めにお求め下さい。

末広会コーナー

- 各種贈答品承ります。
多少に拘らず、お気軽にご用命
下さい。
- 冠婚葬祭用カタログございます。
自由に選べるカタログカテゴリー。
予算別には、贈答品文庫カタログ
是非ご利用下さいませ。
- 詳しくはお電話にて。
- 損保ジャパン代理店
自動車保険、火災保険、積立保険
など、お客様のニーズに合った各
種保険がございます。
- お気軽にお問い合わせ下さい。
- 新製品続々登場
堂ヶ島の塩石鹸 六〇〇円
※詳しくは、お店にて。
- 他にも多数商品がございます

お問い合わせ、資料請求は、
〇四四(九七六)二八八二まで



発想をアクティブに。
伝える情報を伝える情報に。
マルチカルチュラル時代の
コミュニケーションサービスを
展開しています。

株式会社 フレシーズ
〒100-0072 東京都港区白金1-25-20
Tel : 03-3444-7111(代) Fax : 03-3442-5775
E-mail : mails@preseoz.co.jp
Homepage : http://www.preseoz.com

社務所からのお願い

いよいよ春季例大祭の季節となりました。

皆様方から毎年頂いております年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円)

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

年間五千円

口座番号は、左記の通り

○二九〇—七—三八一二

*お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を名記して下さい。

大祭の奉賛金と

御初穂料について

いよいよ、春季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸

経費を賄う運営資金として役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちを形に表わす意味のものです。(直接、御神前にお供えします。)

古い会員の方々には今更改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛をお願いしてより数十年経過しております)、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがおわかりにならない方も多分おられるのではないかと思われましたのでその趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持を思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は大手を広げてお待ち下さっていますので...

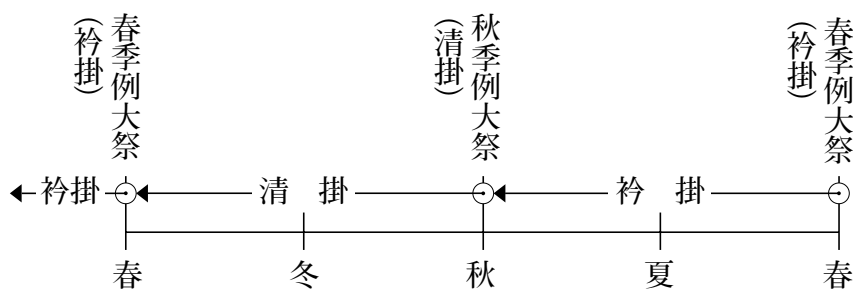
清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらつしやいますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆春季例大祭当日より秋季例大祭の前日まで衿掛の着用(夏季)

☆秋季例大祭当日より来年度の春季例大祭の前日まで清掛の着用(冬季)



「神社とはなにか？」

現実の神道は、「神社神道」が主流です。

そこで、この「神社」について改めて考えてみることにします。

つまり、神社とはもともと「神の社」です。その

「社」については問題ないと思われませんが、現存の「神社とはなにか」ということになると、様々な定義が、そこに存在します。

その「様々な定義」は、だいたい次の二つの型に分けられます。

すなわち「形式的定義」と「実質的定義」です。

前者は、たとえば国家神道時代の内務省による行政

的な定義ですが、戦後はそれを神社本庁が、やはり行政主体に改めた定義です。

それによると「神社は、本殿、拝殿等公衆礼拝の施設を備え、神社神道に従つて、祭祀を行ひ、神徳をひろめ、及び氏子、崇敬者その他の者を教化育成することを主たる目的とする」

(神社本庁・庁規第七十五条)

したがって、神社本庁が

認める神社とは、前掲の定義(ないし条件)を満たしかつ、神社本庁の「承認」を受け、本庁の「神社明細帳」に「登録」されたものということになります。

さて、ここで神社が神社であるための決定的要素が二つあります。

一つは「施設が、なければならぬ」という点です。もう一つは、「祭られる対象が神社神道の神でなければならぬ」という点です。

簡単にいえば、容器と内容です。特に内容、つまり「神」以外に、容器としての建物を必須条件としているのが神社神道です。

しかし、施設についていえば、たとえば「拝殿」を欠く伊勢神宮もあれば、「本殿」を欠く大神神社の様な例もあります。

また内容については神社神道の神(『古事記』

『日本書紀』の神)または特定の人物(社会に功労のあった人)の霊に限られま

すが、太宰府天満宮(菅原道真)などの例外もあります。

す。

お知らせ

出雲心友教会も、IP電話に加入致しました。
 電話番号は、**050-3386-2284**です。
 尚、IP電話同志は、通話料が、
 一切かからないそうです。(無料です)
 IP電話に加入されている方は、
 電話番号をお知らせ下さい。(登録して下さい)
 ※今までの**044-976-0708**でも通話出来ます。

五月～七月の行事予定

五月	十三日(日) 総代会 四時	二十日(日) 春季例大祭 正午	閉扉祭 三時
六月	三日(日) 総代会 四時	四日(月) みたま祭	五日(火) 祖霊廟・祖霊社祭 二時
七月	八日(金) 年祭 正午	十日(日) 大祓祭 二時	二十四日(日) 分宮詣り
	四日(水) みたま祭	五日(木) みたま祭	九日(月) みたま祭
	十一日(水) 年祭 正午	二十二日(日) 総代会 四時	二十九日(日) 水子冥福祭 二時

五月二十日(日) 春季例大祭 正午

毎年、春と秋の年二回、本殿に於て行われる最も大きな御祭です。
 また、日頃の感謝の気持ちを形に表わす絶好の機会でもあります。

大祭当日は、正面の御扉が開き、大神様からの波長(恩頼)を直接頂けますので、万障お繰り合わせの上おまいり下さいませ。

尚、大祭当日より衾掛の着用となりますのでご注意ください。(祝詞本をお持ち下さい。)

当日は、向ヶ丘遊園駅南口よりお迎えのマイク口とワゴン車が出ておりますので、ご利用下さいませ。

六月十日(日)・七月二十二日(日) 年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。

月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粋に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。

みたま祭(祖霊社)

お申し込みの際必ず、御供養ご希望のみたま様の生前のお名前、亡くなられた年月日、享年、続柄をお知らせ下さい。

尚、原則と致しまして、各月(その月)に命日を迎える

でもあります。

出欠は電話にて確認させて頂きますので、必ず人数をお知らせ下さい。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方は直会(直食)の都合がございませので、必ず人数をご連絡下さいませ。

尚、御神体(大国様)と衾掛をお忘れなくお持ち下さい。

六月二十四日(日) 大祓祭 二時

人間は、知らず知らずのうちに言葉などで、人を傷つけているものです。

こうした半年間の罪穢れを祓い清めて、新たな気持ちで、明日からの生活をすすめるの御祭が大祓祭です。

当日は、大祓詞を三回奏上し、その時発せられる言葉(言霊または音霊)によって、自分自身の魂を浄化して、更には切麻によって身を清めます。

当日は祝詞本と衾掛を必ずお持ち下さい。

六月八日(金) 祖霊廟・祖霊社祭 二時

月並祭終了後、祖霊社にて仕えさせて頂きます。

出雲の祖霊廟に鎮まられているみたま様と祖霊社の祖霊壇に鎮まられているみたま様の御供養を合同でさせて頂きます。

尚、当日は御遺族の方々による直会がございませので、おまいりされる方は、六月一日(木)までに、社務所へお申し込み下さい。

喪葬

☆二月六日に、千代田区飯田橋にお住まいの、植田敦子様のご主人、延良様が、七十八才で帰幽されました。

植田家の御遺族の方々には、慎んでお悔やみ申し上げると共に、みたま様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

原稿求む!

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。

皆様の力で、心友会だよりの紙面を楽しく、内容を豊富にしてゆきましょう。

編集後記

☆大きなイベントが終わり今度は、大祭です。☆ご家族で、感謝のおまいりにいらして下さい。

五月二十日(日) 閉扉祭 三時

午後三時より、春季例大祭でお開けした御扉を、大祭当日の御加護に感謝して、大神様に御礼の祝詞を奏上し、お閉めする御祭でございます。

正確には、この閉扉祭までが大祭でございますので出来るだけ参列下さい。

御伺いの予約について

- ☆3の日 (3日・13日・23日)
9:30~11:30 (午前の部)
13:00~15:30 (午後の部)
- ☆8の日 (8日・18日・28日)
9:30~11:30 (午前の部のみ)
午後1時より月並祭(時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。
044-976-0708

みたま祭だより

四月

- 井田家 金子家 苅田家
 - 大平家 鈴木家 染野家
 - 藤田家 大井家 内海家
 - 加藤千恵家 加藤ノブ家
 - 伊坂家 大久保家
 - 熊野家
- 以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。